

建造物では、北区唯一の新潟県指定有形文化財です。

## 14. 松瀧の大地蔵



松瀧の鉄相寺の門前にあり、身替わり地蔵、汗かき地蔵とも呼ばれています。「地蔵様が汗をかくときは何か事故が起きる」といわれ、1964(昭和39)年の新潟地震の前にも汗をかいていたのが確認されています。

この地蔵様の台座の下からは、1988(昭和63)年の御堂改築時に何百もの写経石が出土しました。1843(天保14)年の銘のある写経石もあります。

## 15. 新江用水と竣工記念碑



新江用水は、北区の岡方・長浦地区や阿賀野市など約2300haの水田を潤す農業用水です。現在は阿賀野市(安田)小松の阿賀野川頭首工より取水しています。

1734(享保19)年の開削以来、約290年も人々の生活を支えています。

長い歴史のなかで、水路の工事はたびたび行われていますが、1965(昭和40)年の大改修工事完了の際には、岡方第一小学校前に竣工記念碑が建てられました。

## 16. 十二瀧



古阿賀とも呼ばれ、阿賀野川の乱流蛇行によってできた三日月湖です。広さは約9haで上池、中池、下池に分かれています。昔は

瀧の幅が約87mもあったといわれ、対岸まで張った縄をたぐりながら舟で往来し、ヒシ採りやフナ釣りも行われていました。現在、広さは半減していますが、ヒシのほか希少なアサゲ、ガガブタなど水生植物も群生しています。貴重な十二瀧の自然を守る取り組みも続けられています。

